

公表用

2024年度 卒業時アンケートの結果について

本学の学部4年生(卒業見込み生)を対象に、本学に対する満足度及び推奨度、現在の学修成果の状況、就職活動の状況等などについておうかがいし、本学の教育内容等をより良くしていくことを目的として、下記のとおり「卒業時アンケート」を実施いたしました。

<2024年度「卒業時アンケート」>

【実施時期】2025年1月21 日～3月31 日

【対象者】学部4年生(卒業見込み生)

【本アンケートの回答率】

大学全体 64.4%(483人/750人)

情報表現学科 79.7%(200人/ 251人)

音楽表現学科 68.1%(47人/69人)

音楽応用学科 66.7%(56人/84人)

舞台表現学科 45.9%(17人/37人)

総合政策学科 52.9%(63人/119人)

スポーツマネジメント学科 52.6%(100人/190人)

※<2023年度「卒業時アンケート」>

回答者数469名(回答率60.3%)

・学科別回答者数：情報表現学科140名(学科の52.6%)、音楽表現学科55名(学科の58.5%)、音楽応用学科47名(学科の54.7%)、舞台表現学科18名(学科の28.1%)

総合政策学科60名(学科の45.1%)、スポーツマネジメント学科147名(学科の65.0%)



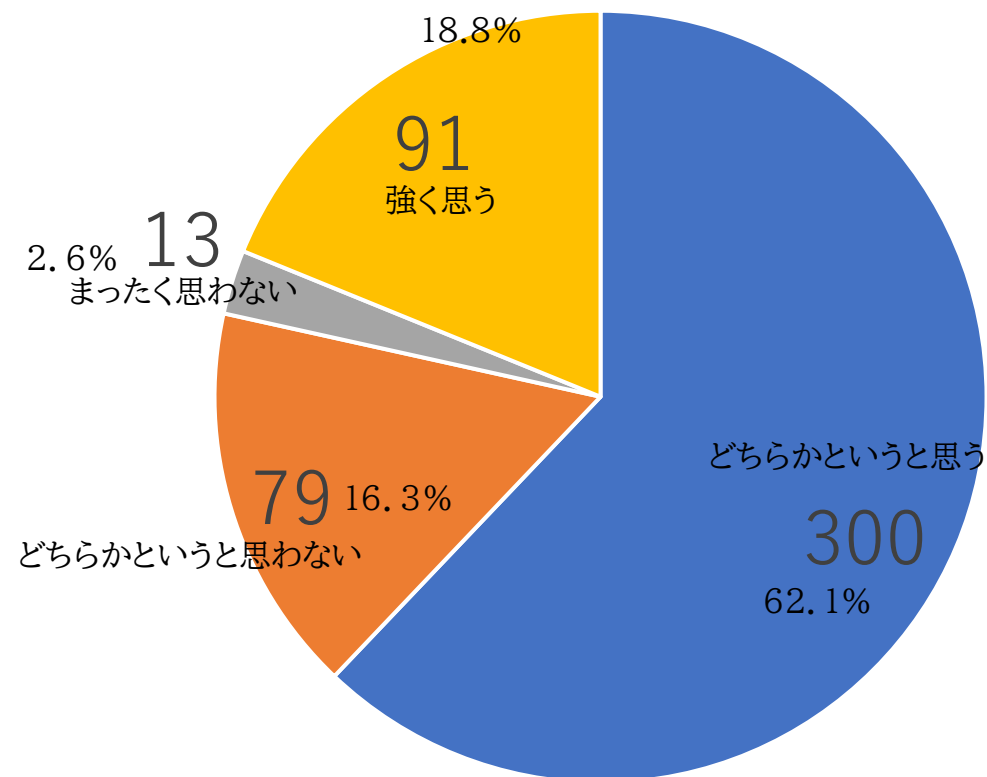
大学全体集計結果



Q. 現時点で本学への入学を後輩や知人等に勧めたいと思いますか。

(概略)推奨派(強く思う+どちらかというと思う)が80.9%である一方、非推奨派(まったく思わない+どちらかというと思わない)が19.1%となった。

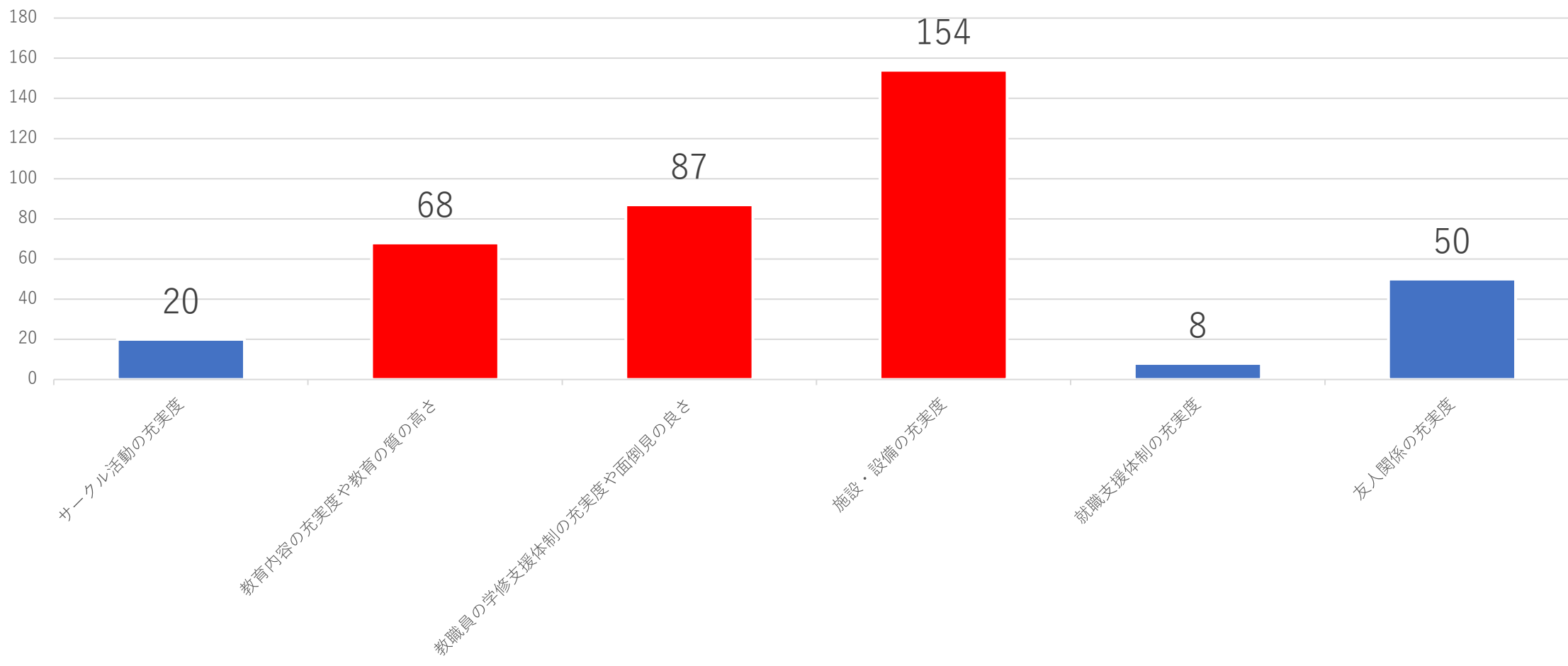
※<2023年度「卒業時アンケート」>
本学への入学を後輩や知人等に勧めたいと思うと回答した割合
大学全体 45.8% (215名)



※<2023年度「卒業時アンケート」>における主な推奨理由
「施設・設備の充実度」が68名（31.6%）、「教育内容の充実度や教育の質の高さ」「教職員の学修支援体制の充実度や面倒見の良さ」がそれぞれ46名（21.4%）

（概略）推奨派の回答者の38.2%が「施設・設備の充実度」と回答し、最も多い推奨理由であった。次に多かったのが「教職員の学修支援体制の充実度や面倒見の良さ」で22.4%、3番目に多かったのが「教育内容の充実度や教育の質の高さ」で17.1%であった。

Q.「強く思う」「どちらかといえば思う」と回答した方におうかがいします。その理由として最も当てはまるものを選んでください。



大学全体

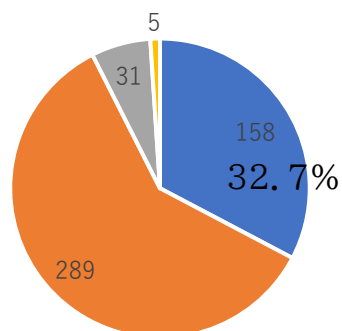
【学修成果について①(修得度)】

- 1 とてもよく身についている
- 2 どちらかといえば身についている
- 3 どちらかといえば身についていない
- 4 まったく身についていない

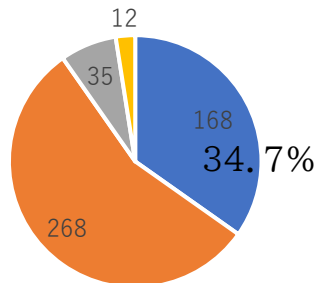
Q. 現時点で、履修した授業科目を通じて、以下の能力をどの程度身につけることができましたか。

(概略)「とてもよく身についている」という回答の割合がもっとも多かったのが「相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)」で42.0%であった。次に多かったのが「意見や立場の違いを理解する力(柔軟性)」で、その次が「現状の課題を発見する力(課題発見力)」であった。

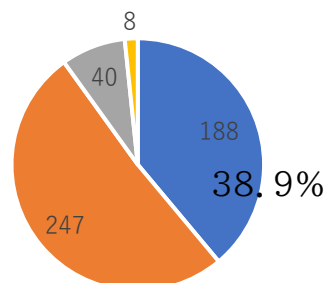
[所属学科における
専門知識・能力]



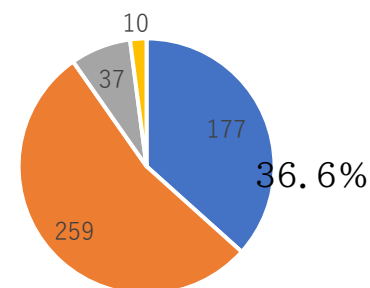
[社会のルールや人との約束を守る力
(規律性)]



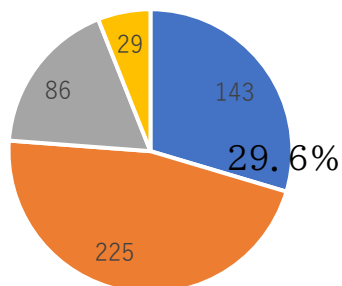
[自分と周囲との関係性を理解する力
(状況把握力)]



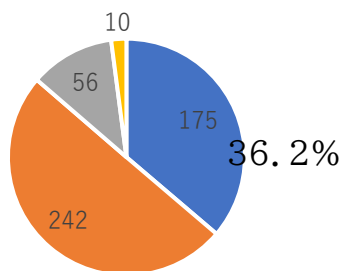
[課題解決に向けて準備する力
(計画力)]



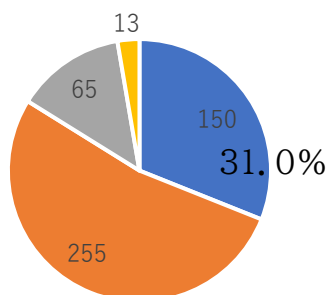
[ストレスに対応する力
(ストレスコントロール力)]



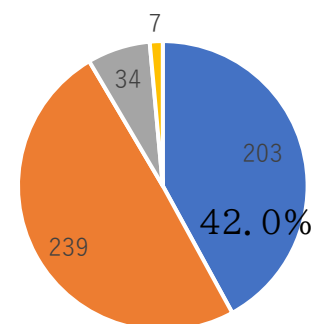
[新しい価値を生み出す力
(創造力)]



[自分の意見をわかりやすく伝える力
(発信力)]



[相手の意見を丁寧に聴く力
(傾聴力)]



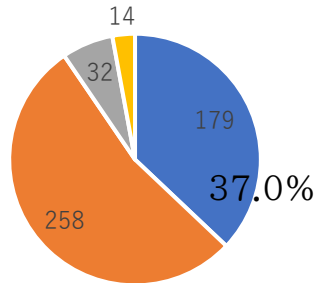
大学全体【学修成果について②(修得度)】

- 1 とてもよく身についている
- 2 どちらかといえば身についている
- 3 どちらかといえば身についていない
- 4 まったく身についていない

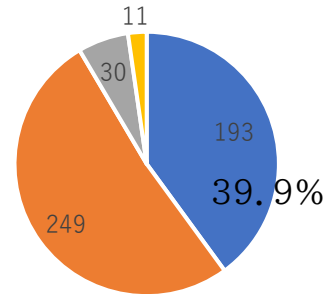
Q. 現時点で、履修した授業科目を通じて、以下の能力をどの程度身につけることができましたか。

(概略)他方で「とても身についている」「どちらかと言えば身に付いている」の割合が一番少なかったのが、「他人に働きかけ、巻き込む力(働きかけ力)」で29.1%、「ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)」で29.6%、「自分の意見をわかりやすく伝える力(発信力)」で30.1%であった。

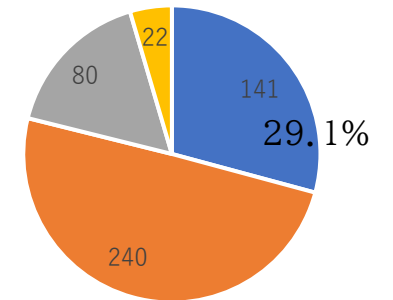
[目標を設定し確実に行動する力
(実行力)]



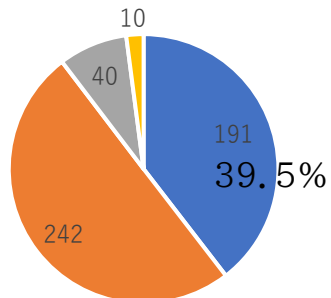
[意見や立場の違いを理解する力
(柔軟性)]



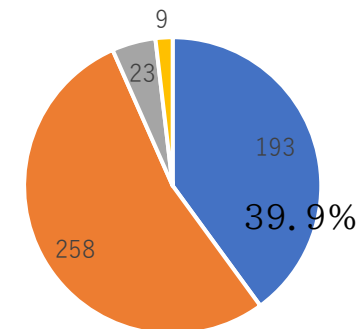
[他人に働きかけ、巻き込む力
(働きかけ力)]



[物事に進んで取り組む力
(主体性)]



[現状の課題を発見する力
(課題発見力)]



(概略)平均スコア(低いほど肯定的)でみると、「アルバイト」が最も積極的に取り組んだ項目となった。その次が、「授業の課題」、「自主学習」と続いた。「グループワーク」や「発表・プレゼン」などの能動的学修活動の平均スコアは高く、最下位は「サークル活動」で、これらの行動は積極的に取り組まれていないことがわかった。

Q6. 現在(卒業直前)のあなたの学修状況についておうかがいします。各項目について1～4で回答してください。

- ・わからないことを放置することなく、すぐに教員に質問するなどの対応をした
- ・興味を持ったことについて自主的に調べた
- ・グループワークやディスカッションに積極的に参加した
- ・発表やプレゼンテーションを積極的に行った
- ・授業を毎回出席し教員の話をしっかり聴いていた
- ・授業の課題等はきちんとやった
- ・期末試験等の前は計画的に準備をした
- ・サークル活動に積極的に参加した
- ・アルバイトを頑張った

各学修行動の平均値を算出

回答状況を1点から4点までに点数化し、回答数で除して、各学修行動の平均値を算出した。

1点:非常に当てはまる(積極的に取り組んだ)

2点:やや当てはまる

3点:あまり当てはまらない

4点:全く当てはまらない(全く取り組まなかった)

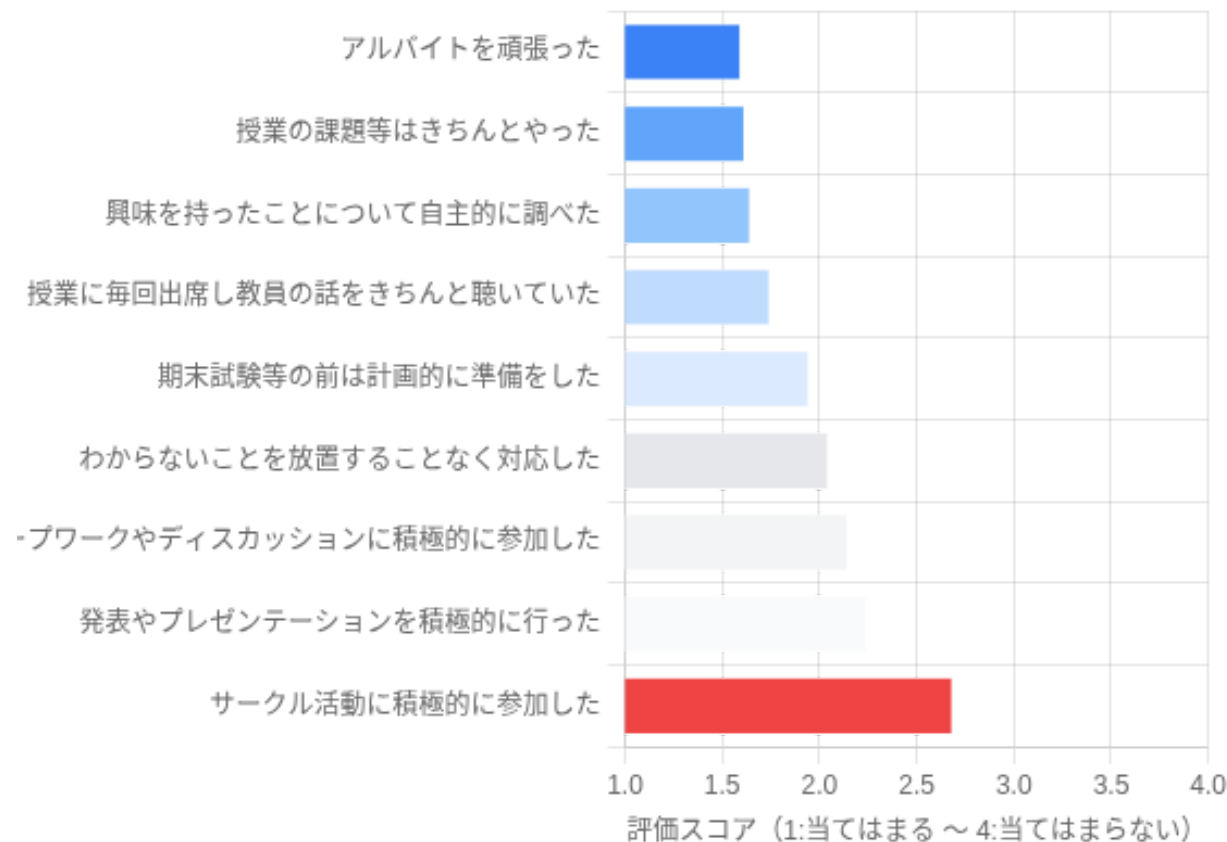
分析結果

学修状況の上位項目

9項目の学修状況では、「アルバイトを頑張った」(1.60)、「授業の課題等はきちんとやった」(1.62)、「興味を持ったことについて自主的に調べた」(1.65)が上位となり、基礎的学修姿勢と学外活動への積極性が確認されます。

学修状況の下位項目

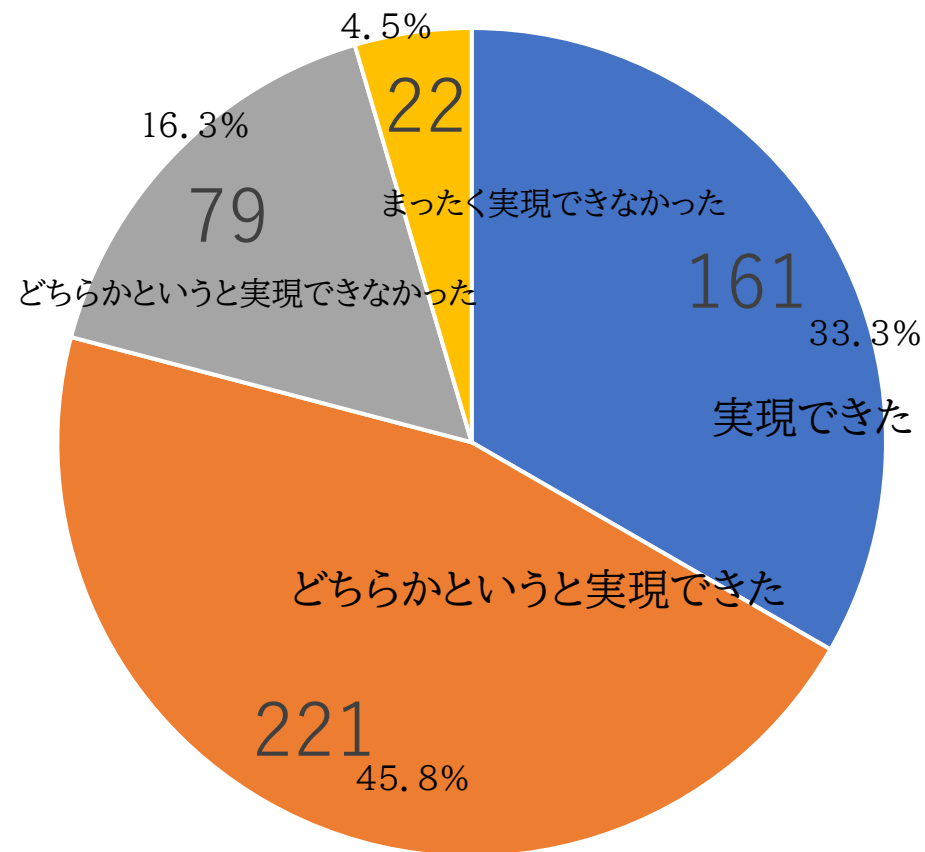
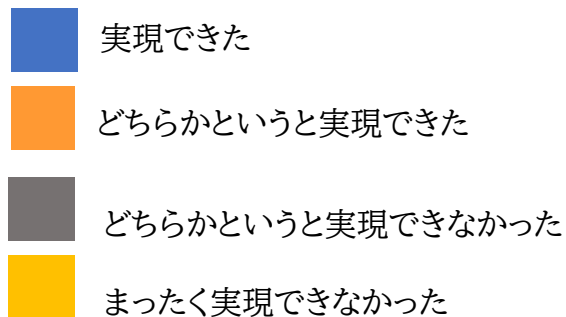
一方、「サークル活動に積極的に参加した」が2.69と最も低く、コロナ禍の影響が反映されます。また「発表やプレゼンテーション」や「グループワーク参加」も相対的に低い評価となっています。



Q. 希望通りの進路が実現できましたか？

(概略)「実現できた」(33.3%)「どちらかという
実現できた」(45.8%)と回答した割合は79.1%で、
約8割の学生が希望通りの進路を実現している。
他方で、「まったく実現できなかった」「どちらかとい
うと実現できなかった」と回答した割合は20.9%
であった。

※<2023年度「卒業時アンケート」>
希望通りの進路が実現できたと回答をした学生の割合
大学全体 78.9% (370人)



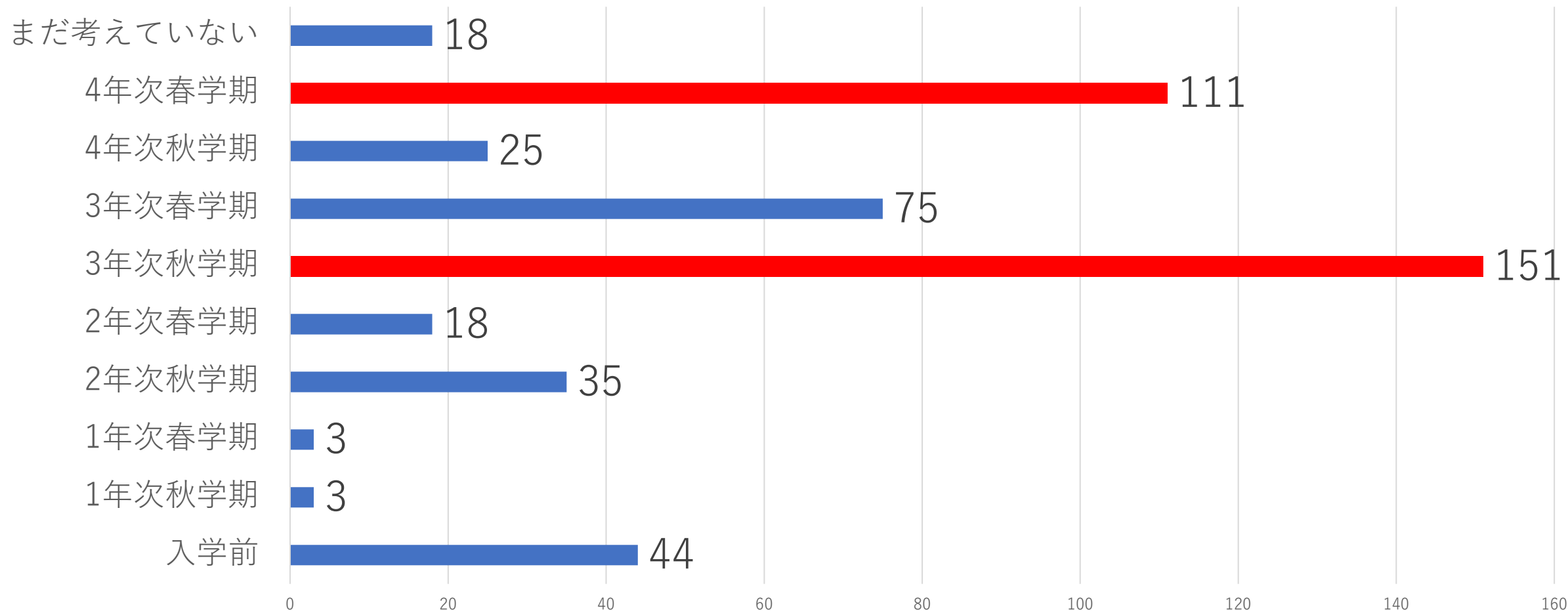
大学全体

【キャリア・就職について③】

※<2023年度「卒業時アンケート」>
卒業後の進路を具体的に考え始めたのはいつ頃ですか。
回答が多かったのは
「3年次秋学期」（24.7%）「4年次秋学期」（22.8%）

Q. 卒業後の進路を具体的に考え始めたのはいつ頃ですか。

（概略）「3年次秋学期」が一番多く31.3%、次に多かったのが「4年次春学期」で23.0%、3番目に多かったのが「3年次春学期」で15.5%、4番目が「入学前」で9.1%であった



大学全体

【満足度について】

Q. 大学生生活全般に対する満足度について当てはまるものを回答してください。

(概略)「とても満足」(41.0%)と「どちらかといえば満足」(49.9%)の合計が90.9%で、9割以上の学生が大学生生活全般について満足していると回答した。他方で、「まったく満足していない」と「どちらかという満足していない」の合計は9.1%にとどまっている。

※<2023年度「卒業時アンケート」>における同旨の質問
「やや満足した」「大変満足した」と回答した学生
大学全体 412名 (87.8%)

